

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 放射線治療における CT と位置照合および位置確認用 X 線に対する医療被ばくの多施設実態調査

研究の目的

2020 年 4 月の医療法施行規則の改正に伴い、放射線治療領域においては CT シミュレータや循環器用透視装置の被ばく線量の管理と記録が求められています。これを受けて、日本放射線腫瘍学会は、位置照合撮影に伴う被ばく線量評価及び最適化を実施し、医療被ばくによる線量が表示される機器については、線量記録を行うことを望むとしています。現在、医療被ばくの最適化のツールとして診断参考レベル (Japan DRLs 2020) がありますが、放射線治療に関連する項目は準備されておりません。本研究課題は、放射線治療計画用 CT および画像誘導放射線治療用 CT による被ばく線量を調査し、新たな放射線治療の診断参考レベル (DRLs) といった指標を得ることを目的としております。そのため多施設から被ばく線量情報や患者さんの基本情報を収集させていただき、放射線治療における医療被ばくの最適化を目指します。

研究実施期間： 2023 年 4 月 21 日 ~ 2025 年 3 月 31 日
(倫理委員会承認日)

対象となる方： 弘前大学医学部附属病院放射線治療室および国立大学病院放射線治療室 (17 施設) において、2008 年 1 月から 2022 年 12 月までの治療計画 CT 及び画像誘導放射線治療用 CT を施行した患者さんを対象とします。各施設において治療計画 CT 及び画像誘導放射線治療用 CT を施行した成人 30 名 (20 歳以上、体重 50 ~ 70kg) ずつ、小児 30 名 (15 歳未満) ずつの計 120 名を想定し、18 施設で合計 2,160 名を予定しています。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院での放射線治療の実施に伴う X 線の被ばく線量情報および対象となる患者さんの基本情報を収集し、標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、被ばく線量情報は治療計画 CT 及び画像誘導放射線治療用 CT により取得します。放射線治療に必要な被ばく線量情報のみを対象とし、本課題による追加の被ばくはございません。多施設の協力を得て、後方視的に情報収集を行い、統計的解析を行います。オプトアウトのため、各施設のホームページにて文書を公開いたします。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して (これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対

象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	医療技術部放射線部門・小原 秀樹 4413 / obara@hirosaki-u.ac.jp
-------	--